

BAYERISCHE
STAATSOPER

ワイン、スカラと並ぶ三大歌劇場

バイエルン国立歌劇場

2017年日本公演

タンホイザー TANNHAUSER

全3幕

R.ワーグナー作曲

キリル・ペトレンコ指揮/ロメオ・カステルッチ演出

魔笛 DIE ZAUBERFLÖTE

W.A.モーツアルト作曲

アッシャー・フィッシュ指揮/アウグスト・エヴァーディング演出

“伝説”は始まっている。

K E I R I E N L L P E T R E N K O

キリル・ペトレンコ

バイエルン国立歌劇場音楽総監督

Photo: Wilfried Hösl

ペトレンコに王冠を!

速いのか遅いのか？ 軽快なのか重厚なのか？ 王冠を被っているのかいないのか？

聴いてみなければわからない。客席の明かりが消えて指揮者が現れるまで、こんなにゾクゾク、ワクワクしたのは久しぶりだ。何しろ現れる指揮者はペトレンコだ。いま最も注目されている指揮者を、何度か聴いているならともかく、実際に聴くのはこれが初めて。しかも振るのはワーグナーときている。バイエルン国立歌劇場2016年一番の聴きものはペトレンコ指揮のワーグナー『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』だった。

カラヤンが帝王として君臨していたのは昔の話だが、もしも音楽界に玉座があるとしたら、それはベルリン・フィルの指揮壇上だ。フルトヴェングラーからカラヤン、カラヤンからアッバード、アッバードからラトルへと受け継がれてきた冠を、次にキリル・ペトレンコが被る。発表された時は困った。一度も実際の演奏を聴いていなかったからだ。バイロイトでもウィーンでも聴きそびれている。バイエルン国立歌劇場の音楽総監督で、ベルリン・フィルの次期音楽監督になる指揮者だというのに一体どうして？

なぜペトレンコなのか？どんな演奏をするのか？評判が良かったのは知っているし、録音された演奏なら知っている。でも自分の耳で聴かなければ……。オペラを振るカラヤンを聴いた時はその前に何度もコンサートを聴いた後だった。クライバーを初めて聴いた時はまるっきり期待していなかった。今度は違う。これから聴こうとしているのは音楽界の玉座に就こうとしている指揮者なのだ。

『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』の前奏曲が始まっていくらもたたないうち、安心してしまった。良かった！ こういう演奏をする指揮者なら好みに合わない未来が来る怖はないぞ。古めかしく重ったるいワーグナーじゃない。前進するエネルギーと高揚感にあふれている。全曲が終わるころには、ワーグナー好きなら誰もが求め る靈感豊かな指揮者の登場で幸せな気分になっていた。この夜勝利の冠を被るべきは、ザックスでもヴァルターでもなく、ペトレンコだった。

さあ『タンホイザー』だ。

[堀内 修・音楽評論家]

B A Y E R I S C H E S T A A T S O P E R

バイエルン国立歌劇場

バイエルン国立歌劇場の前回(2011年)の日本公演は、東日本大震災から半年後、原発事故の影響から実現が危ぶまれましたが、ドイツ側・日本側が一致団結し、どうにか実現にこぎつけました。あれから6年経ち、さらに両者の絆は強まって、こんどは万全の体制で最高のものをお届けすべく、いま準備に余念がありません。

ドイツは世界一の「歌劇場大国」と言われ、各州それぞれに立派な劇場をもっています。なかでも17世紀半ばに起源をもつバイエルン国立歌劇場は、ドイツで最初のオペラ専用劇場であり、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場と並ぶヨーロッパ三大歌劇場の一角として、名実ともにドイツの「ナンバーワン」歌劇場として君臨しています。ミュンヘンのオペラの歴史は数々のオペラ史に特筆大書される出来事とともにあります。18世紀に若きモーツアルトの名を決定的に世に知らしめ、19世紀にはルートヴィヒ2世の庇護のもと初演されたワーグナー作品によって、ミュンヘンはヨーロッパ音楽界の中心地となりました。現在、バイエルン国立歌劇場では毎年初夏の約1か月間「ミュンヘン・オペラ・フェスティバル」が開催されますが、このフェスティバルは1875年に主にモーツアルトとワーグナーの作品を上演することを意図してスタートしたものです。モーツアルトとワーグナーのオペラこそ、この歌劇場の2枚看板なのです。

モーツアルト作曲「魔笛」がミュンヘンで初めて上演されたのは1793年。以来、この地で特別な作品であり続けてきました。エヴァーティング演出の舞台が長く愛され続けているのは、このプロダクションがバイエルン国立歌劇場の「特別な誇り」を担っているからにはなりません。

また、“ワークナーの中心地”と認められていた時代をもつミュンヘンに、名ワークナー指揮者の名が並んでいるのは当然のこと。この名ワークナー指揮者たちの系譜に、すでに名を連ねているのが現音楽総監督のキリル・ベトレンコです。すでに《ニーベルングの指環》をはじめ、ワークナー作品での大きな成功を収め、瞬く間にヨーロッパの音楽界でナントバーワンの実力者と認められるまでになりました。バイエルン国立歌劇場の音楽総監督に就任して5シーズン目を迎え、歌劇場やオーケストラとの信頼も安定したタイミングでの日本公演は、新たな伝説がすでに始まっていることを実感させます。ベルリン、フィル次期音楽監督でもあるキリル・ベトレンコの日本デビューに、オペラ、音楽ファンの期待はいや増すばかりです。

2017年一番の衝撃!



NHÄUSER

タンホイザー

全3幕

作曲: R.ワーグナー

2017年5月 新演出初演

指揮: キリル・ベトレンコ
演出: ロメオ・カステルッチ
美術: ロメオ・カステルッチ
衣裳: ロメオ・カステルッチ
振付: シンディ・ヴァン・アッカー
照明: ロメオ・カステルッチ
合唱監督: セーレン・エックホフ

【予定されるキャスト】
領主ヘルマン: ゲオルク・ゼッベンフェルト
タンホイザー: クラウス・フロリアン・フォーク
ウォルフラム・フォン・エッセンバッハ: マティアス・ゲルネ
エリーザベト: アンネット・ダッシュ
ヴェーヌス: エレーナ・パンクラトヴァ

バイエルン国立管弦楽団
バイエルン国立歌劇場合唱団

Musikalische Leitung: Kirill Petrenko
Inszenierung: Romeo Castellucci
Bühne: Romeo Castellucci
Kostüme: Romeo Castellucci
Choreographie: Cindy Van Acker
Licht: Romeo Castellucci
Chor: Sören Eckhoff

Hermann, Landgraf von Thüringen: Georg Zeppenfeld
Tannhäuser: Klaus Florian Vogt
Wolfram von Eschenbach: Matthias Goerne
Elisabeth: Annette Dasch
Venus: Elena Pankratova

Bayerisches Staatsorchester
Chor der Bayerischen Staatsoper

■表記のキャストは2017年1月20日現在の予定です。

フリードリッヒ・スターによる木版画「ヴェーヌスベルクのタンホイザー」
(© akg-images, Berlin)
*今回の演出イメージではありません。

■表記のキャストは2017年1月20日現在の予定です。

DIE ZAUBERFLÖTE

魔笛

全2幕

作曲: W.A.モーツアルト

指揮: アッシャー・フィッシュ
演出: アウグスト・エヴァーディング
改訂演出: ヘルムート・レーベルガー
美術: 衣裳: ユルゲン・ローゼ
照明: ミヒャエル・バウアー
振付: ベアーテ・ヴォラック
合唱監督: セーレン・エックホフ

【予定されるキャスト】
ザラストロ: マッティ・サルミネン
タミーノ: ダニエル・ベーレ
夜の女王: ブレンダ・ラエ
パミーナ: ハンナ=エリザベス・ミュラー
パパゲーノ: ミヒャエル・ナジ
パパゲーナ: エルザ・ベノワ
バイエルン国立管弦楽団
バイエルン国立歌劇場合唱団

Musikalische Leitung: Asher Fisch
Inszenierung: August Everding
Neueinstudierung: Helmut Lehberger
Bühne und Kostüme: Jürgen Rose
Licht: Michael Bäuer
Choreographische Mitarbeit: Beate Vollack
Chor: Sören Eckhoff

Sarastro: Matti Salminen
Tamino: Daniel Behle
Königin der Nacht: Brenda Rae
Pamina: Hanna-Elisabeth Müller
Papagno: Michael Nagy
Papagena: Elsa Benoit

Bayerisches Staatsorchester
Chor der Bayerischen Staatsoper

Photo: Wilfried Hösl
■表記のキャストは2017年1月20日現在の予定です。 Photo: Wilfried Hösl

指揮: アッシャー・フィッシュ
Musikalische Leitung: Asher Fisch
Photo: Chris Gon

ザラストロ: マッティ・サルミネン
タミーノ: ダニエル・ベーレ
夜の女王: ブレンダ・ラエ
パミーナ: ハンナ=エリザベス・ミュラー
パパゲーノ: ミヒャエル・ナジ
パパゲーナ: エルザ・ベノワ
Photo: Marco Borggreve
Photo: Kristin Hoermann
Photo: Chris Gon
Photo: David Maurer
Photo: Wilfried Hösl

タンホイザー

ペトレンコ、カステルッチ、フォークト 完璧な布陣による『タンホイザー』

『タンホイザー』は、ワーグナーが中世の史実や伝説をもとにつくったオペラです。テーマは「愛」と「救済」。官能的な快楽を求める「愛」と、精神的な清らかさを尊重する「愛」の間に揺れる主人公タンホイザー。それぞれの「愛」を象徴する二人の女性ヴェーヌスとエリーザベトは、彼の「救済」となり得るのか。ワーグナーの音楽は、官能の渦に引き込んだかと思えば、魂の昇華を思わせる崇高さを繰り広げます。包み込まれる響きのなかで、古今東西を問わず永遠普遍のテーマである「愛の本質」に、誰もが心を揺さぶられずにはいられません。

それだけに、演出による描き方はさまざま。今回演出を手がけるロメオ・カステルッチは、バイエルン国立歌劇場のバッハラー総裁が“舞台美術と演出における魔術師”と呼ぶイタリア人。2017年5月のプレミエに向けて、「タンホイザーは愛の概念のなかで危機に瀕した人物であると同時に、それが芸術家としての源泉になる」

と語り、時間や場所を特定できない精神的な風景となる、とも言います。魔術師と呼ばれるだけに、その種明かしは初演を待たなければなりません。はっきりしていることは、指揮者ペトレンコの手腕。ワーグナー作品において、すでに絶大な評価を得ていることです。『タンホイザー』は、ワーグナー自身によっていくつか改訂された版がありますが、ペトレンコは「これまでにない独自ヴァージョンで」と意欲を見せています。

天才指揮者と鬼才と評される演出家が生み出す舞台に、人気実力ともに世界の最高峰に立つワーグナー・テノール、クラウス・フロリアン・フォークトが登場、このプロダクションで初めてのタンホイザー役に挑みます。この超目玉公演は、オペラ・ファンなら絶対見逃せません。

魔笛

バイエルンの伝家の宝刀、一閃 伝説の『魔笛』ベスト・プロダクション出現!

『魔笛』は、モーツアルトのオペラのなかでも世界中で、子どもから大人まで絶大な人気を博している作品。王子が捕らえられた娘を助けに行くと、そこには“正義”があり、王子と娘は試練を乗り越えて太陽の神殿に迎えられます。冒険譚やスペクタクル、コミカルなシーンなどが取り混ぜられているのは、この作品は庶民が楽しむためにつくられたものだから。モーツアルトが書いた美しい音楽やファンタティックな物語は、天上の出来事のようです。

バイエルン国立歌劇場は、モーツアルト、ワーグナー、R.シュトラウスを上演の3本柱としていて、モーツアルト作品の多くも、次々と新制作が行われています。しかし、今回上演されるアウグスト・エヴァーディングの演出による『魔笛』は例外です。あまりにも観客に愛されているため変えられないとのこと。エヴァーディングは、

1977年から82年までバイエルン国立歌劇場の総裁を務めた人。物語がもつメルヘン性とファンタジー性を、子どもたままでなくしっかりと描きだし、天才ユルゲン・ローゼの美術と相まって、幻想的な美しさをたたえ、天上の夢を見させてくれます。

指揮を執るアッシャー・フィッシュは、バレンボイムの愛弟子で、優れたピアノ奏者でもある俊英。世界中のオペラハウスで実力を發揮しています。バイエルン国立歌劇場の伝統を受け継ぎ、モーツアルトへの敬愛に満ちた珠玉の一作と言うべき舞台を任されるのは、オーケストラや歌手たちからの厚い信頼を寄せられているからにはなりません。長い年月、磨き抜かれてきたこの『魔笛』は、まさにバイエルン国立歌劇場の宝です。その『伝家の宝刀』が初めて海をわたり日本で抜かれようとしています。

世界の歌劇場で揺るぎない評価をもつ実力派、アッシャー・フィッシュ。

アッシャー・フィッシュはウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤル・オペラ、メトロポリタン歌劇場、ドレスデン国立歌劇場など、世界の著名な歌劇場から招かれています。2007年から2014年には、シアトル・オペラの首席客演指揮者もつとめました。ダニエル・バレンボイムのアシスタントとしてキャリアをスタートさせたフィッシュは、いまや各国の歌劇場で揺るぎない地位を築いています。

秋から始まり翌年の初夏まで続くシーズン中、ほぼ連日公演が行われるドイツ圏の歌劇場では、音楽監督に代わって指揮台に立つ指揮者が必要です。その歌劇場にふさわしい実力と人気をもつ指揮者がシーズンを支えることになりますが、バイエルン国立歌劇場におけるアッシャー・フィッシュも、そうした信頼を寄せられる指揮者。バイエルン国立歌劇場の宝である『魔笛』を安心して任せられる指揮者というわけです。

バイエルン国立歌劇場 2017年日本公演

R.ワーグナー作曲 「タンホイザー」全3幕 キリル・ペトレンコ指揮 ロメオ・カステルッチ演出	9月21日(木) 3:00p.m. NHKホール 9月25日(月) 3:00p.m. NHKホール 9月28日(木) 3:00p.m. NHKホール	■入場料(税込) S=¥65,000 A=¥59,000 B=¥54,000 C=¥42,000 D=¥32,000 E=¥25,000 F=¥17,000 エコノミー券=¥15,000 学生券=¥8,000
W.A.モーツアルト作曲 「魔笛」全2幕 アッシャー・フィッシュ指揮 アウグスト・エヴァーディング演出	9月23日(土・祝) 3:00p.m. 東京文化会館 9月24日(日) 3:00p.m. 東京文化会館 9月27日(水) 6:00p.m. 東京文化会館 9月29日(金) 3:00p.m. 東京文化会館	■入場料(税込) S=¥56,000 A=¥49,000 B=¥42,000 C=¥35,000 D=¥26,000 E=¥20,000 F=¥16,000 エコノミー券=¥15,000 学生券=¥8,000

入場券ご購入にあたり、下記についてあらかじめご了承ください。 このチラシ表記の出演者は 2017年1月20日現在の予定です。病気や怪我などのやむを得ない事情により出演者が変更になる場合があります。その場合、指揮者、主役の歌手であっても、代役を立てて上演することになっておりますので、あらかじめご了承ください。出演者変更にともなうチケットの払い戻し、公演日・席種の変更はお受けできません。最終出演者は当日発表とさせていただきます。

2演目セット券 (S,A,B席)

セット券一斉発売日 3/18(土) 10:00より

NBS WEBチケットおよびNBSチケットセンター、東京文化会館チケットサービスにて発売

NBS WEBチケット先行発売 [座席選択] NBS

2/27(月)21:00～3/6(月)18:00

※ご利用いただく際には、事前に会員登録(登録料・年会費無料)が必要となります。

NBSチケットセンター 03-3791-8888

●セット券は2演目のS,A,B席を対象とし、2演目が同枚数であれば、公演日およびS,A,B席の別は自由にお選びいただけます。同一演目の組み合わせはお受けできません。
※お席については(オペラ・フェスティバル特別鑑賞会)の会員席を優先させていただきます。

特典 バイエルン国立歌劇場公演プログラムを1セットにつき1部進呈

一斉前売開始 (S~D席)

4月15日(土) 10:00より

※セット券で満席になった場合は、S,A,B席が発売されないことがありますのでご了承ください。

NBS WEBチケット先行発売 [座席選択] NBS

3/25(土)21:00～3/31(金)18:00

※ご利用いただく際には、事前に会員登録(登録料・年会費無料)が必要となります。

NBSチケットセンター 03-3791-8888

[NBS以外の前売所]

●e+(イープラス) ■座席選択先行:4/2(日)10:00～4/12(水)18:00(WEBのみ)

一般発売はWEBで承ります。

[発売初日より] <http://eplus.jp/bso/> (PC&携帯)

●チケットぴあ

■プリセール:4/2(日)10:00～4/12(水)18:00(WEBのみ)

一般発売は特電とWEBで承ります。

[発売初日より] <http://w.pia.jp/t/bso/> (PC・スマートフォン&携帯)

0570-02-9994 (10:00～18:00 オペレーター対応)

0570-02-9922 (10:00～23:59 音声応答)

0570-02-9999 (Pコード:318-522)

●ローソンチケット ■先行受付:4/2(日)10:00～4/12(水)18:00(WEBのみ)

発売初日は特電とWEB、オペレーター、店頭で承ります。

(Lコード:32954)

[発売初日より] <http://l-tike.com/baye2017/> (PC&携帯)

ローソン・ミニストップ店頭 Loppi 4/15(土)10:00より

[発売初日特電] 0570-084-629(オペレーター対応 10:00～12:00)

0570-000-407(4/15 12:00以降 オペレーター対応 10:00～20:00)

(4/16より) 0570-000-407(オペレーター対応 10:00～20:00)

E,F席 3月19日(日)10:00より 下記プレイガイドで一斉発売開始

●e+(イープラス)●チケットぴあ●ローソンチケット●東京文化会館チケットサービス
※NBSチケットセンター(電話/WEB)でのお取扱いはございません。

予約は各演目1回のお申込みにつき1枚とさせていただきます。詳しい予約申込方法は各前売所の情報をご確認ください。

エコノミー券 3月19日(日)10:00より

学生券 受付 8月18日(金)20:00より

エコノミー券はイープラスのみで受付。お一人様につき各演目1枚のみ。

学生券はNBS WEBチケットサービスのみで受付。25歳までの学生を対象とし、公演当日は学生証を必ずお持ちいただきます。

第2次発売 7月22日(土)10:00より

各前売所からの回収分等を集めて、第2次発売いたします。一斉前売でチケットが入手できなかった方は、この機会に一度お問合せください。

(公演日、券種によりご用意できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

注意事項●お申込みいただいた後の変更はお受け出来ません。またお支払い期限までにご入金が確認できない場合は、お申込みは無効とさせていただきます。●開演時間に遅れますと、休憩時間までお待ちいただかず、場合によっては指定された場所でのお立見になります。

●会場内の写真撮影・録音・録画等、著作権・肖像権を侵害する行為がなされた場合は、機材をお預かりし、記録されたメディアやデータを没収または消去させていただきます。●本公演会場には駐車スペースがありません。●未就学児童のご入場はお断りします。●インターネットオークション等による営利目的での転売はお断りします。